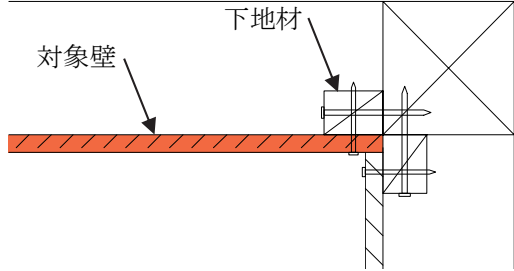
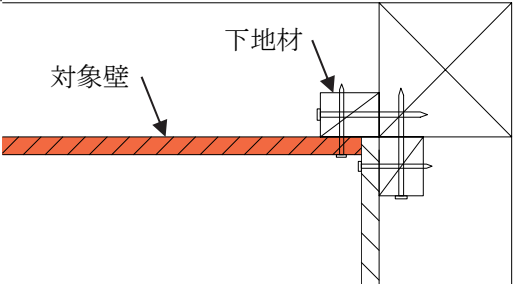
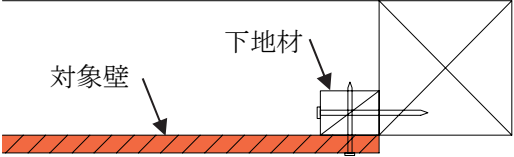
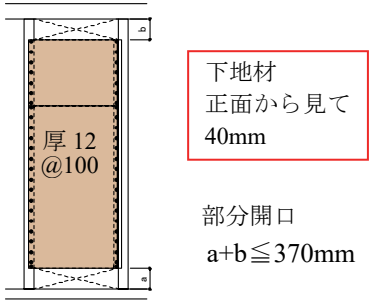


評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-233カ・マ・タ	
評価技術名称					連絡先	https://www.aichi-gensai.jp			
部分開口 構造用合板補強工法 大壁入隅等「上下あき 勝ち・負け・単独」裏棧なし					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会				
					実験実施機関 :名古屋工業大学				
概要	技術概要								
	<p>大壁仕様、入隅部等の、床天井間のみで補強可能な工法。 カ:入隅部を対象壁勝ちとする仕様 マ:入隅部を対象壁負けとする仕様 タ:片側を受材仕様で単独壁とする仕様</p>								
要	技術の特徴				コスト				
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能 一般流通品なので取り扱いが容易 				サンプル	カ:14,089 円/kN			
				構面	マ:17,693 円/kN		タ:17,693 円/kN		
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法			大壁				
	規模	3階建て以下			対象壁勝ち:カ				
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁			対象壁負け:マ				
	耐震性能								
	評価仕様:大壁直貼仕様				単独壁:タ				
		壁基準耐力	壁基準剛性						
	「対象壁勝ち」	3.64kN/m	511kN/rad/m						
	「対象壁負け」	2.6kN/m	365kN/rad/m		部分開口 a+b ≤ 370mm				
	「単独壁」	2.6kN/m	365kN/rad/m						
	A-111からの低減係数α								
	対象壁勝ち α=0.7 : 壁基準耐力 5.2×0.7=3.64								
	対象壁負け α=0.5 : 壁基準耐力 5.2×0.5=2.6								
	単独壁 α=0.5 : 壁基準耐力 5.2×0.5=2.6								
設計方法									
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること									
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
主要構成部材の仕様									
構造用合板	大壁、厚 12mm、縦使い 各高さ 400mm 以上 釘 N50、CN50、@100mm 以下 川の字打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下								
間柱	なし								
継手受材	なし								
上下受材	なし								
四方受材	なし								
下地材	奥行 30×見付 40mm 柱に対して、釘 N75@150mm 以下 または N90 @200mm 以下								
アルミアングル	なし								
かさ上げ材	なし								